



2022(仏暦2565)年 1月号 (第124号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

参拝は心のリフレッシュ

■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

■本願寺の本

死んだらどうなるの？

■編集後記

年忌法要表

| | | | |
|-------|-------------|-------|-------------|
| 1 周忌 | 2021(令和 3)年 | 23 回忌 | 2000(平成12)年 |
| 3 回忌 | 2020(令和 2)年 | 25 回忌 | 1998(平成10)年 |
| 7 回忌 | 2016(平成28)年 | 27 回忌 | 1996(平成 8)年 |
| 13 回忌 | 2010(平成22)年 | 33 回忌 | 1990(平成 2)年 |
| 17 回忌 | 2006(平成18)年 | 50 回忌 | 1973(昭和48)年 |

住職 法話

参拝は心のリフレッシュ

今月の法語

まきようもまた
光り輝くみ仏の
お顔おがみて
うれしなうのく

今月の法語は、稲垣瑞劔とい
う方の著書『願力往生』
の中の「大信海」の一節です。
日々の仏さまを拝む生活を
実感できるような言葉です。
そして、「きようもまた」と
言われるように、新たな年に
当たって相応しい法語ではな
いでしょうか。

私は、特に終わりの「うれ
しなつかし」という言葉が要

だと感じます。

少し落ち着いたかなと思わ
れた新型コロナの感染症も、
また感染が増えて対策が必要
な状況が続いています。行き
たい所があつても自粛すると
いうコロナ禍の生活が続く
と、心の持ち様にも変化が出
てきます。私も例外ではあり
ません。私が、今直ぐにでも
行きたい所は、本山の京都の
本願寺です。毎年、一度は参
拝に行くことが常となり、楽
しみにしていた家族旅行でも
ありました。東京の築地本願
寺も同様に行くことが無くな
りました。

私が、本山参拝に行くこと
に拘ったのは、日々の法務

や生活で常にふれる仏さま
も大切ですが、日常を離れ仏
さまにふれることが私の活力
にもなっていたような気がし
ます。また、本山の莊嚴なる
阿弥陀さま、親鸞さまの御影
を拝み、皆で大きな声で読経
をする中に、「うれしき」と
「なつかしき」を感じられて
いたのでしよう。

親鸞さまがお示し下さった
浄土真宗のお勤めでしか読
まれない「正信念仏偈」があ
ります。「きみようむりよう
じゆによらい」と始まり親し
まれているお勤めです。お葬
式などで、そのお勤めが始ま
ると、この方も浄土真宗だ
とすぐにわかります。すると

他の人の読まれるお勤めをお
聞きすると、何かなつかしき
を感じるがあります。

当たり前になつてしまいう日
常から見方を変えることによ
つて気づかされることがあり
ます。心をリフレッシュする
中に、お念仏に出遇えたこと
の「うれしき」と、何か「な
つかしき」を味わえる本山参
拝が叶うのが待ち遠しいで
す。お知らせしていますよう
に、来年は本山で慶讃法要
が勤められます。



浄土真宗

⑧ 仏事のイロハ

二、葬儀を行う

― 悲しみを超えて―

「葬儀と宗教」

宗教の異なる家族が亡くなったら……

家族の間で異なる宗教を信じていたり、あるいは“無宗教”という人がいる場合、その方が亡くなれば、葬儀はどうすればよいのでしょうか。一般的に言って、避けて考えられないことは、故人の意思だと思えます。まして、生前「私が死んだら、こうしてくれ」などと遺言めいたことを言われておれば、なおさらでしょう。そこで「葬儀は故人の宗教、信条に基づいて

決める」と判断される方が多いようです。

しかし、こんな話があります。“無宗教”を自認し「葬式無用論」を説いていたある大学教授が、思いもかけぬ我が子の死に出会いました。その途端、これまで盛んに主張していた説はどこかへ吹っ飛び、涙ながらに「盛大な葬儀をしてくれ」と頼んだと言います。

つまり、亡き人の死を縁に営まれる葬儀というのは、後に残った遺族、縁者が亡き人を悼み、その遺徳を偲ばずにはおれないという心情から行われる儀式であるわけです。

「死を悼み、遺徳を偲ぶ」ことは、自らの信仰とは切り離し得ない心のはたらきです。たとえ亡き人が無宗教でも、また他の宗教を信じてい



ても、“私”が亡き人を偲ぶ時、私の宗教観でしか偲べないのではないのでしょうか。

そう考えると、葬儀は遺族の心情（信仰）にもっともふさわしい宗教で行われるのが本筋ではないかと思うのです。（最終的には、遺族の代表者である喪主が決める）。

「それでは、故人の意思はどうなるのか」と言われそうです。が、しかしここでははっきりしておきたいことは、後の“意思”が「自分のこと」後

の世話）を頼む」と言っているのか、または「後に残った者がよりよく生きるための願い」であるのかを聞き分ける必要があるということです。もし前者ならば、時には遺族の心を“束縛”しかねません。

要は、死んでからのことを頼むのではなく、今生きている時に、大切な心（信仰）を伝えておくことです。お念仏を子孫に伝えるには、今を置いてほかはありません。

ポイント
▼亡くなってからのことを頼むより、今生きている時に「心」を伝える

「浄土真宗 ⑧ 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より

～本願寺の本～

「死んだらどうなるの？ ねえ、お坊さん教えてよ」

岡崎秀磨/富島信海 著/本願寺出版社 刊 1,760円(税込)

死んだらどうなるのが、なぜ墓参りをするのか、どこへ向かって手を合わせるのか…。「死」と「死後」へのギモン、「仏壇」や「お墓」へのギモン、さまざまなギモンにQ&A形式でわかりやすく答えます。

附録として、「遺していく人」に伝えたいことをまとめておく「私の相談ノート」を収録。



[本願寺出版社ホームページより]

携帯サイト

携帯電話からも商品をご注文いただけます。
QRコードからアクセス→



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

編集後記

本年もどうぞよろしくお願
いします。◆新年早々、少
し落ち着いていた新型コロ
ナ感染も、あつという間に
オミクロン株といわれる変
異株が感染を広げる事態に
見舞われています。コロナ
に伴う差別は許されないこ
とですが、誰々のせいと
か言っている暇もないほど
で、明日は我が身というよ
うな感じで感染が広がって
います。睡眠をとり規則正
しい生活が大切と言われる
方もおられます。少しでも
広がりを抑える行動をして
いきましよう。◆寒さも厳
しい日が続い
ています。お
身体を大切
に。

